

サンゴ群集修復事業の課題について

1. サンゴ移植の課題

(1) 定着について

- ・ミドリイシ類については、定着率が高く課題は見られない。
- ・ハナヤサイサンゴ類の回収場所による定着数に差違がみられたことを鑑み、回収したい種によって設置場所を探索する必要がある。

(2) 採苗について

- ・定着から採苗に係る蓄養期間に損失がある。

(3) 移植について

- ・移植海域により、サンゴの種類が生残率が異なる。
- ・移植基質が岩盤礁尾根部で最も生残率が異なる。
- ・移植適地が少なくなっている。

2. 今後のサンゴ移植の取組

(1) 定着について

多種のサンゴを十分に移植できるほどの量を回収していく手法を検討する。
(着床具の改良、着床具設置場所の探索、着床具を利用しない回収方法など)

(2) 採苗について

毎年移植に十分な群体数と種数を供給できる仕組みを検討する。
(蓄養期間の延長、ストックヤード整備など)

(3) 移植について

移植基質の確保が必要か否か検討(人工基質の設置など)
移植海域や底質の環境の違いによる移植方法の変更(移植種の選定など)